

## [課題演習概要]

保健学習における中学生の学習意欲を高める保健体育科学習指導の研究  
—ICT 活用における合同授業型の学習を通して—末 吉 勇 騎  
Yuuki SUEYOSHI福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻教育実践力開発コース  
教職教育高度実践力プログラム

(2024 年 1 月 10 日受理)

キーワード：保健学習，学習意欲，合同授業型の学習

## 1 研究の目的

公益財団法人日本学校保健会では、保健学習推進上の課題を明らかにするために、保健の学習意欲に着目した全国調査を実施し報告している。保健の学習意欲において「期待」「価値」「感情」の3つの視点に焦点を当てている。保健学習において「保健の学習は今の生活に役立つ」「保健の学習は社会に出てからの生活に役立つ」「保健学習をすれば健康に生活ができるようになる」といった「期待」に関する項目では、肯定的な意見が多いことを報告している。また、「保健学習は大切だ」「保健学習は重要だ」といった「価値」に関する項目に対しても肯定的な意見が多いことを報告している。一方「保健の学習が好きだ」「保健学習は楽しい」といった「感情」に関する項目では、肯定的な意見が少ないことを指摘している。これらを踏まえ、保健学習において保健の学習意欲を高める工夫が必要だと考える。

また、中村ら(2018)は、「楽しく学習すること」を重視し、実験や体験等の多様な学習活動を多く取り入れることで、保健の学習意欲を高めることができると報告している。しかし、保健の学習意欲を高める授業実践は、対面授業に留まっており、オンライン授業での研究は行われていない。

そこで本研究は、中学校の保健分野において、オンラインを用いた授業を実践し、保健の学習意欲を高める授業づくりの有効性について明らかにすることを目的とした。また、対面クラスとオンラインクラスでの比較を行うことで、更に有効性を高めていく。

## 2 研究の計画

表1は、M1, M2 での研究計画となっている。この研究計画をA市立B中学校第2学年対象に2単位時間を通して行う。

表1 研究計画

M1	保健の学習意欲に関する先行研究や保健学習におけるオンライン、および遠隔授業の文献研究。
M2	ICT を活用した合同授業型の学習を行い、生徒の学習意欲を高めるための授業展開の考案と実践。

## 3 研究の内容

## (1) 目的

①合同授業型の学習を取り入れた授業を通して、授業実践前後の保健の学習意欲の変容を明らかにすることを目的とする。

②対面クラスとオンラインクラスでの比較を行うことで、保健の学習意欲を高める授業づくりの有効性を明らかにすることを目的とする。

## (2) 授業実践

時期：2023 年 11 月

内容：保健分野「傷害の防止」

表2 授業形態

	対面クラス	オンラインクラス
遠隔合同授業	1, 5, 6, 8 組	2, 3, 4, 7, 9, 10 組
遠隔交流学習	全クラス	全クラス

表2は、対象クラス別の授業形態となっている。遠隔合同授業とは、離れている教室と教室をつな

いで授業を行うことを指し、遠隔交流学習とは、生徒が他のクラスの生徒とも個別につないで交流を行うことを指す。これらの2つの授業形態を合わせて合同授業型の学習となる。

### (3) 結果と考察

表3は、対象者の実践前後の保健の学習意欲の平均値と対応のないt検定を行った結果である。

表3 保健の学習意欲の平均値と対応のないt検定の結果

	実践前 M (SD)	実践後 M (SD)	T 値	自由度	有意確率
保健の学習意欲「期待」	4.00 (0.88)	4.15 (0.80)	2.05	498	0.04
保健の学習意欲「価値」	4.40 (0.81)	4.52 (1.78)	1.78	504	0.07
保健の学習意欲「感情」	2.98 (1.28)	3.37 (1.09)	3.76	503	0.00

\*\*p<.01\*p<.0.5

保健の学習意欲「期待」については、授業前の4.00から授業後の4.15と得点が増加し、有意確率が0.05以下のため有意な差が認められた。また、保健の学習意欲「感情」についても、授業前の2.98から授業後の3.37と増加し、有意確率が0.05以下のため有意な差が認められた。

一方、保健の学習意欲「価値」については、授業前の4.40から授業後の4.52と増加したものの有意確率が0.05以下ではないため有意な差が認められなかった。

更に、合同授業型の学習についてのアンケート結果では、合同授業型の学習が学びにつながったと肯定的に答えた生徒が231名(92%)であった。また、合同授業型の学習が楽しいと肯定的に答えた生徒が227名(90%)であった。

以上より、保健の学習意欲の向上を目指して実践した合同授業型の学習については、有効な学習支援の1つになることが示唆された。

表4は、実践前後の保健の学習意欲「感情」の平均値、標準偏差、および分散分析の結果である。

表4 実践前後の平均値、標準偏差、および分散分析の結果

A) 授業形態	B) 時期		Aの主効果	Bの主効果	交互作用
	実践前	実践後	F (1, 503)	F (1, 503)	F (1, 503)
オンライン	M 3.98	4.13	0.079	10.775**	4.194*
	SD 0.89	0.75		前<後	オ: 前<後**
対面	M 4.02	4.17			
	SD 0.87	0.87			

\*\*p<.01;p<.0.5

\*\*p<.01\*p<.0.5

対面クラスとオンラインクラスでの比較を行った結果、保健の学習意欲「感情」に関して交互作用に有意な差が認められた。

一方、保健の学習意欲「期待」「価値」については、有意な差が認められなかった。

また、図1の分散分析の結果から対面クラスよりオンラインクラスが保健の学習意欲「感情」の有意な上昇がみられた。

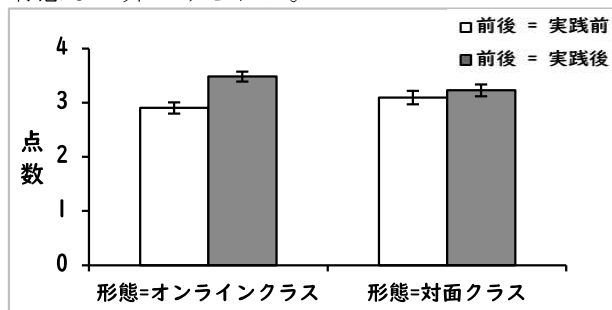


図1 実践前後の平均値、標準偏差、および分散分析の結果

更に、授業についてのアンケート結果では、合同授業型の学習を通して意見が出しやすいと肯定的に答えた生徒が226名(90%)であった。

以上より、保健の学習意欲「感情」を高める要因としてオンライン授業がより有効性があると示唆された。

## 4 成果と課題

実践前後の保健の学習意欲尺度アンケートの結果、合同授業型の学習を行うことにより、保健の学習意欲「期待」「感情」に対して有意な上昇が認められた。このことから、保健学習において合同授業型の学習を導入することにより、保健の学習意欲の高まりに有効性があると示唆された。

また、2, 3, 4, 7, 9, 10 組(オンラインクラス)は、1, 5, 6, 8 組(対面クラス)と比較し、保健の学習意欲「感情」が有意に上昇した。このことから、実践校の生徒においては、対面での授業よりオンライン上での授業の方が、「楽しい」「好きだ」と肯定的に捉える生徒が多いことが示唆された。

一方、保健の学習意欲「価値」では、有意な上昇を確認することができなかった。今後の研究の課題として「価値」を高めるための視点を踏まえた授業づくりを検討していきたい。

### 主な引用・参考文献

- 公益財団法人日本学校保健会 2015 中学校の保健学習を着実に推進するために
- 中村直美 他 2018 中学校保健学習における学習意欲を高める授業実践とその評価 -単元「心身の機能の発達と心の健康」の実践-